

木屋川を下るホテル舟(豊田町上殿敷付近)



豊田町観光大使任命式も行われ、中尾市長から観光大使の任命書とタスキが交付されました。ホテル舟運航開始前日の6月11日には、地元の小学生が招待され、ホテルの乱舞を楽しんでいました。

豊田のホテル祭りとおホテル舟

6月8・15日の2日間、豊田のホテル祭りがあり、大勢の人が訪れました。祭りでは、豊田ホテルの里ミュージアムマスコットキャラクター「ほたるくん」

今年も梅雨を迎える前に、防災パトロールを行いました。今回は、長府扇町の海岸保全施設整備箇所、みもすそ川の海岸保全施設の整備現場を視察しました。随時現地調査を実施して状況を把握し、関係機関と密接に連携して災害予防対策の強化を図っていきます。災害が発生したときには即時対応ができる体制を確立し、防災対策に万全を期していきます。

防災パトロール

今年も梅雨を迎える前に、防災パトロールを行いました。今回は、長府扇町の海岸保全施設整備箇所、みもすそ川の海岸保全施設の整備現場を視察しました。



しものせきトピックス

Shimonoseki Topics

三吉家の資料を 下関市に寄託

このたび、三吉慎蔵のひ孫・三吉治敬氏が、長府藩士・三吉家に伝来する貴重な資料を市に寄託しました。三吉慎蔵はやりの名手として有名で、寺田屋事件で坂本龍馬を救った龍馬の盟友として知られています。寄託された資料は、龍馬が寺田屋事件後の政治動向を伝えた書状など39点。慎蔵の写真や高杉晋作の資料などもあり、教育や研究、展示などに活用されます。



資料「三吉慎蔵写真原板(壮年期)」



中尾市長に目録を渡す三吉治敬氏(左)

我が海響アスリート!

5月30日(木)、第1回下関市「海響アスリート」認定証授与式が市役所でありました。海響アスリートは、維新・海峡ウオーク(約30キロ)、ツール・ド・しものせき(ロングコース約130キロ)、下関海響マラソン(フルマラソン)の3大会全てを完走・完歩して申請した方に贈られる称号です。記念すべき第1回は、山口・福岡県在住の男性30人に、認定証とメダル、メダル置きが贈られました。





両市建築士会支部、関門景観協議会(下関市、北九州市)が受賞

イルミネーション 水族館が出現!

「灯りのまちイルミネーション水族館」が海響館周辺に誕生しました。ペンギン、イルカ、クジラなどの消費電力の少ないLEDライトのイルミネーションを設置。その他、恋人灯台までの道を、たくさんの方の光で演出しています。7月7日(日)まで、毎日午後8時〜10時に点灯しています。皆さんぜひ、海峡の風を感じながら、初夏の夜を彩るイルミネーションを見にいきましょう。



市と共に城下町長府景観協議会が受賞(城下町長府地区)

都市景観大賞受賞! 長府地区・関門地区

今年度の都市景観大賞で、城下町長府地区が「都市空間部門」、関門地区が「景観教育・普及啓発部門」の大賞(国土交通大臣賞)を受賞しました。都市景観大賞は、良好な都市景観を生み出す優れた事例と、その実現に貢献した関係者を顕彰するものです。長府地区は、行政と地区住民による整備や景観保全活動などが、関門地区は景観形成への貢献の活動などの活動が評価されました。

しゅん・かん・びと



今、話題のひとを紹介します

「ミズノスポーツメントール賞」受賞

下関市剣道連盟会長 **田北 律弥**さん



生涯剣道 相手を尊重する 気持ちが何よりも大切

2月に田北律弥(75)さんが「ミズノスポーツメントール賞」を受賞しました。同賞は、わが国の競技スポーツや、地域スポーツの選手の強化・育成、地域スポーツの普及・振興に貢献した指導者を顕彰し、優秀な指導者の育成を目的として制定されたものです。田北さんは、市内の剣道普及に力を注ぐとともに、剣道を通して韓国との交流大会を創設するなど、多岐にわたる活動が評価されて今回の受賞に至りました。田北さんは、お兄さんが剣道をする姿を見て興味を持ち、高校生から剣道を始めました。剣道の奥深さに惹かれ、現在、教士7段の腕前です。市武道場で子どもや成人向けに指導を行い、指導歴は45年。「ここまで続けられたのも子どもたちのおかげです」と田北さん。「剣道では相手を思いやる気持ちを持って、本気でお互いがぶつかり、切磋琢磨することが大切。何事にも一生懸命に取り組んでほしい」と語る田北さんの目は、優しいながらも力強さを感じました。これからもできる限り剣道の指導を続けていきたいと田北さんは言います。これからの目標は、剣道をする人が稽古に集中できる環境を整えていくこと。剣道に限らず、高齢者が気軽にスポーツを楽しむ環境を整えていきたいと話していました。